

2017年度 来場者の声

東京会場

◆来場者①

私は東京会場に第1・2部とも参加させていただきました。第1部では法科大学院での授業風景を映像で拝見したり、現役の法科大学院生や法曹三者の方々のお話を拝聴したりしました。法科大学院の授業の様子は大学での大教室を使った講義とは違い、小規模のクラスで教員や友人と活発な議論や質問を行うもので、とても興味深いものでした。また現役の法科大学院生2名からお話をいただきましたが、お二方ともまったく背景や動機などが異なっていて、本当にさまざまな方々と出会い互いを高め合うことができる環境があることに魅力を感じました。そして法曹三者の実務家の方が実際にいらっしゃって仕事内容などを教えていただきました。普段なかなか実際にお話を聞く機会はないため、貴重な体験となりました。最後に法科大学院の金銭面での援助の制度や勉強できる環境の紹介があり、予備試験を目指すルートが近年支持されている傾向が強いなかで法科大学院の良さを知ることができました。

第2部では懇談会があり、複数の法科大学院の説明を聞いたり、実務家の方と直接お話ししたりすることができました。2時間の懇談会でしたが、あっという間に時間が経ち時間が足りないほどでした。いくつかの法科大学院の説明しか聞くことができませんでしたが、法曹を目指す学生を支援するために近年作られた制度がとても充実していることに驚きました。また、司法修習生の近年の就職状況のデータを閲覧することもできました。

実際に説明を受けなければわからなかったことがたくさんあったので、今回このイベントに参加し、とても有意義な時間を過ごすことができました。法曹を目指したいという意欲がますますわきました。

◆来場者②

今回「ロースクールへ行こう」に参加しました。私は高校生で、身近に法に関する仕事をしている人も少なく、自ら行動しない限り実務に携わっていらっしゃる弁護士の方とお話する機会は得られないため、今回のイベントは私にとってとても良い機会でした。

私が弁護士を志したのは半年ほど前で、なんとなく法学部に進学して司法試験を受ければいいのかと漠然とっていました。しかし今回のイベントを知った時、同時にロースクールというものの存在に気がつきました。ロースクールについては学校の公民の授業で知識としては知っていましたが、この時自分の将来就きたい仕事に就くための手段としての

現実味を帯びたものになりました。

当日は弁護士の方だけでなく、検察官の方や裁判官の方から直接仕事内容について聞くことができ、どの仕事についても内容はもちろん、やりがいや苦勞に至るまで深く知ることができました。

その後の懇談会では、弁護士の方から個別にお話を聞くことができ、以前から弁護士の仕事に対して感じていた疑問や、イベントに実際に参加してから新たに生じた疑問までたくさんを質問することができました。なので、今まで漠然としていた「弁護士」という仕事をはっきりと意識することができるようになり、さらに改めて弁護士の仕事の良さを感じるすることができました。

ロースクールは大学の先にあるものなので、やはり大学生の参加者の方が多かったように思えますが、高校生の参加者も多く、特に懇談会では隣で熱心に質問をしていた同学年の高校生の男の子がいて、同じような志を持った人がいると実感し、良い刺激を受けられました。

最初から最後までなかなか聞くことのできない貴重なお話を聞けたり、弁護士の方や実際にロースクールで教鞭をとっていらっしゃる方に直接質問することができたりと大変有意義なイベントでした。参加して本当に良かったです。

阪神会場

◆学部3年生

ロースクール座談会に私が出席したきっかけは、自分が通っている大学のロースクール長に声をかけていただいたからです。その前からロースクールへの進学を決めていたので、それに向けての準備のモチベーションアップのためのきっかけになると思い参加しました。この座談会で印象的だったのが、来ていただいた弁護士などの先生方と椅子を円にしてお話しできたことです。今までも弁護士の方のお話を聞くことがあったのですが、講義の中の質問といった形式ばかりで、今回のように近くでお話しできたことは、他ではあまりなく、質問もしやすく大変良かったです。ただ残念だったのは、一つの場所は時間制で、しかも一か所に5から8人ほどの人数がいて、一人当たり質問できる回数が限られていたのが残念でした。できるだけ多くの質問をしようと必ず先生の横に座り、一番に質問していたのですが、聞きたかったことのすべてが聞けたわけではありませんでした。

しかし、このように実際にロースクールを修了されてその先へと進んだ方とお話しできる機会はめったにないので、とても貴重な体験になりました。

◆学部3年生

私はいわゆる予備試験ルートでの司法試験の受験を考えていました。しかし、今年度の予備試験で思うような点数が取れず、ロースクールへの進学を検討するようになりました。そんな折、大学の先生から今回の説明会にお誘いいただき参加することになりました。

第一部の講演会では企業内弁護士の先生から、普段の業務ややりがいなどをうかがうことができました。今まで、言葉としては企業内弁護士という仕事を知っていましたが、詳しい業務などは知りませんでした。しかし、講演の中で、ビジネススキームの策定に早い段階から携わること、社内規定の改訂など詳しい業務内容を知ることができ、非常に興味深いものでした。

第二部の懇親会では、法曹三者の先生方から、ロースクールの魅力やお仕事について様々なお話を伺うことができました。裁判官や検察官の方からお話を聞くのは初めてだったので貴重な経験となりました。また、どの先生方も、ロースクールは司法試験を目指す友人が多くいる中で勉強できるメリットがあるということをおっしゃっていたのも印象的でした。

第三部の事務所訪問では、大手総合事務所を訪問させていただきました。オフィスを見学させていただいたり、事務所に所属されている先生方から普段どのような働き方をされているかなどお話をうかがうことができました。ぼんやりとイメージするだけだった弁護士という仕事ですが、明確なイメージを持つことができ、今後の試験勉強のモチベーションになりました。

今回の説明会でロースクールについて色々なことを知り、今までの、予備試験ルートで合格出来なかったらロースクールに進学しようという消極的な考えが、ロースクールに通いたいと積極的に考えるようになりました。

◆高校2年生

私は弁護士志望なので、等身大の弁護士像を知る絶好の機会であると考え、「ロースクールへ行こう！！2017」へ参加しました。

これまでは、法科大学院は司法試験に合格するために行く場所という印象が強かったのですが、今日のお話を伺って、ロースクールへ行くことには、学部よりも実践的な講義が受けられることと、人との繋がりを広げることができるという別の意義があることを知りました。

法科大学院では、実務経験の豊富な先生方から、少人数で双方向の講義が受けられると知り、とても興味をもちました。「そのような積み重ねがあるからこそ、法に詳しくない私のような高校生にも理解しやすい説明が可能なのだな」と思いました。

また、様々な分野でご活躍中の先生方のお話を聞いて、法科大学院で得た人とのつながり

りが、現在の先生方の仕事を支えていることが分かりました。

今までは、弁護士の仕事について漠然とした憧れで志望していましたが、ここに参加したことで弁護士の仕事をより詳しく知り、自分の進むべき道をより明確にすることが出来ました。

先生方の姿を間近で見て、ますます自分もこの仕事で人の役に立ってみたいと思いました。

本日は、このような機会を頂きましてありがとうございました。

名古屋会場

住田弁護士の講演を非常に興味深く聞かせて頂きました。時代柄、なかなか波乱に満ちたキャリアを歩んでいらっしゃる、これから法曹の世界を目指す学生として、勇気とより一層のモチベーションを頂きました。私は裁判官志望ですが、検察官も一進路として考えています。そして、結婚して子どもがほしいとも思っているのですが、出世もあまり望みません。ここまでは若いころの住田弁護士と同じです。違うのは、というか、本講演を聞いて認識が変わったのは、人生、何があるかわからないので、若いころの将来の展望なんて、あまりあてにならないということです。裁判官や検察官は、最初からキャリアのためにスタートダッシュを切らなければその後は望めないと思っていました。実際、ほとんどそうなのだと思いますが、いわゆる地位を上げる意味での「出世」に限らなければ、自分を豊かにする機会はいくらでも転がっているものだと思います。

少々特殊な事例の講演ではあったと認識していますが、自分次第で非常に楽しめる道であると改めて感じました。やはり、法曹の道を目指していこうと思います。

岡山会場

◆学部1年生

私は今回、「ロースクールへ行こう！」岡山会場に参加しました。第1部では、法曹の方々から法曹の仕事と法曹の魅力についてお話いただきました。第2部では、登壇いただいた法曹の方々との懇談会・個別相談会でした。

大学の授業において、弁護士さんのお話を直接聞くことは多々あったのですが、実際の検察官や裁判官の方から直接、自身の仕事や魅力、日常についてお話をうかがうことはなかったため、とても貴重な機会でした。私は小さい頃から弁護士になりたいとっていて法学部に入りました。大学での勉強やいろいろな方のお話をうかがっているうちに、弁護

士の仕事の多様性を知りました。たとえば、今回お越しいただいたインハウスイヤーとしてご活躍している弁護士さんの話などです。弁護士と一括りにいったとしても、働き方はさまざまだと、今回の説明会での事務所勤務弁護士さんと企業勤務の弁護士さん一日の仕事の違いから改めて感じました。また、実際の検察官や裁判官のお話を聞き、この二つの職業にも興味や弁護士にはないやりがいがあるなあってなってみたくてという憧れを抱きました。今後は検察官や裁判官も視野に入れて将来を考えていこうと思いました。

個別相談会では、私は裁判官の方にお話をうかがいました。大学学部時代にどんな勉強をしたのか、また、ロースクールでの勉強生活についてなど実体験を聞くことができとても参考になりました。他にも、裁判官としての日常生活や仕事状況といった職業に関する質問もでき、今まで知らなかった裁判官の職業について聞いて、光栄でした。

普段は聞くことの出来ないお話ばかりで、めったにない機会であり、参加して良かったと心の底から感じました。そして、将来に向けて勉強を頑張ろうという力も湧きました。

◆学部1年生

今回、私が「ロースクールへ行こう！2017（岡山会場）」に参加させていただいたのは、法曹志望である自分が今すべきことが何なのかを明確にすることができる良い機会になると思ったからです。

裁判官や検察官、組織内弁護士、法律事務所弁護士の方々から仕事の魅力とやりがい、日々の生活についてお話を伺うことができました。自分が将来どうなりたいか、具体的な目標を立てて勉強することの大切さや、独りよがりにならずに仲間と情報交換しながら勉学に励むことが長い目で見たときにいかに重要なのかを学ぶことができました。普通に生活しては関わるることができないような方々の貴重なお話を聴くことができたので、とても勉強になりました。今後自分のすべきことを改めて実感することができ、早い段階からこのような説明会に参加することは自分に良い刺激を与えることができるので、ぜひたくさんの方に参加していただきたいと感じました。

また、ジュリナビ運営事務局の方々からも司法試験の分析からわかる情報などをお話していただけたので、参考にして頑張ろうという気持ちがわいてきました。とても有意義な時間をありがとうございました。

◆学部1年生

今回、私は「ロースクールへ行こう！2017」に第1部・第2部共に参加させていただきました。第1部では、法曹三者の方々から仕事内容など貴重なお話を多々うかがうことができました。私は1度も裁判官や検察官の方々からお話を伺ったことがなかったので、今回の「ロースクールへ行こう！2017」で1人当たり約30分と長時間お話を伺うことが出来た

ことは、大変貴重な機会となりました。また、ロースクールで学習後の司法試験の合格率やロースクールへ進学することの利点など、普段あまり触れることのない情報に触れることが出来ました。

第2部では、個別懇談会で実際に裁判官の方から直接お話を伺うことが出来ました。第1部のお話よりも詳しいお話や、大学時代の勉強法などを教えていただきました。具体的なお話を多々していただいて、とても参考になりました。また、他にも積極的に質問をする学生が多かったので、共に同じ大学で学ぶ同じ目標を持った仲間の志の強さを知る良い機会になりました。

今回「ロースクールへ行こう！2017」に参加したことで様々な良い体験をすることが出来ました。今回参加させていただいて、本当に良かったと思います。法曹三者になりたいという気持ちが強まりました。実際に法曹三者になるということはとてもハードルの高いことですが、これからも勉強に精進していきたいと思います。